



特集

次のクルマ選びの選択肢に！ 次世代自動車のある暮らし

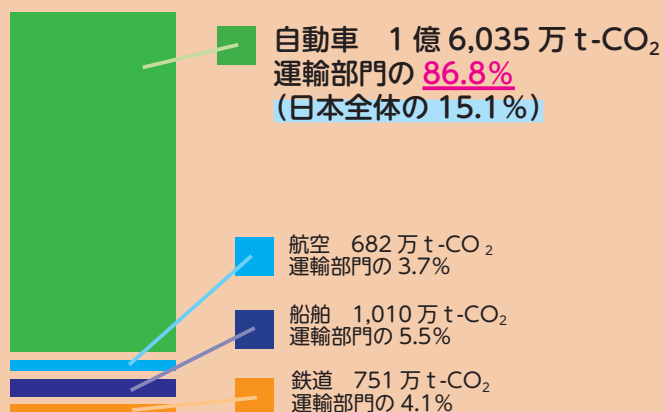
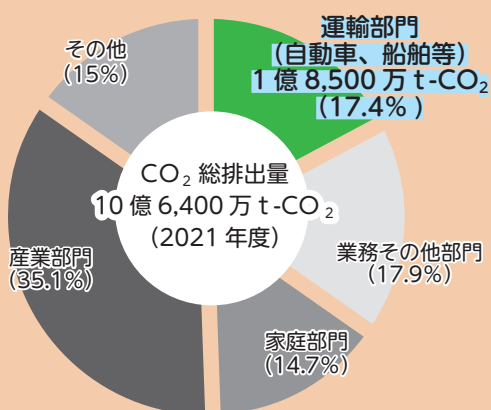


岩倉市では、2050 年度までに CO₂ 排出量実質ゼロを目指す **ゼロカーボンシティ** を表明しています。走行時に CO₂ を排出しない次世代自動車は、有効な地球温暖化対策の1つです。次世代自動車の知識を深めて、次のクルマ選びの選択肢の1つに加えてみませんか？



クルマってどれくらい CO₂ を排出しているの？

2021 年度における国内の CO₂ 排出量のうち、自動車からの排出量は 1 億 6,035 万 t-CO₂ で、全体の排出量の 15.1% を占めます。



※合計の数値は端数処理により一致しません。

(出典) 国土交通省



次世代自動車とは・・・

電気自動車 (EV)、燃料電池自動車 (FCV) など環境負荷の少ない自動車のことを言います。

種類	仕組み	車両特性
EV 電気自動車 		EV は、外部電源から車載のバッテリーに充電した電気を用いて、電動モーターを動力源として走行する車です。 ガソリンを使用しないため、走行時に CO ₂ を排出しません。
PHV プラグインハイブリッド自動車 		EV とハイブリッド自動車の長所を合わせて進化させたクルマです。充電することもでき、その電気を使い切っても、そのままハイブリッド自動車として走行することができるため、電池切れの心配がありません。
FCV 燃料電池自動車 		水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」を搭載し、そこで作られた電気を動力源としてモーターで走行するクルマです。 走行中に排出されるのは、水のみで CO ₂ は排出されません。

(出典) 一般社団法人 次世代自動車振興センター



次世代自動車を選ぶメリット

メリット 1・・・環境にやさしい!

次世代自動車（PHVは電気走行時）は、走行時にCO₂を排出しません!

ちなみに、ガソリン車で年間10,000km走行した場合に排出されるCO₂の量は1.32t-CO₂、スギの木150本分の年間のCO₂吸収量と同じです。

1.32t-CO₂ = スギ150本分



メリット 2・・・乗り心地が快適!

次世代自動車は、ガソリン車のような音や振動が少なく、また、スムーズに加速するため、乗り心地が快適です。

メリット 3・・・災害の時も安心!

次世代自動車の多くは、車内に備えられたコンセントやV2H（次世代自動車用充電設備）を利用することで、災害等の停電時に電気を使うことができます。



しかもEVなら・・・

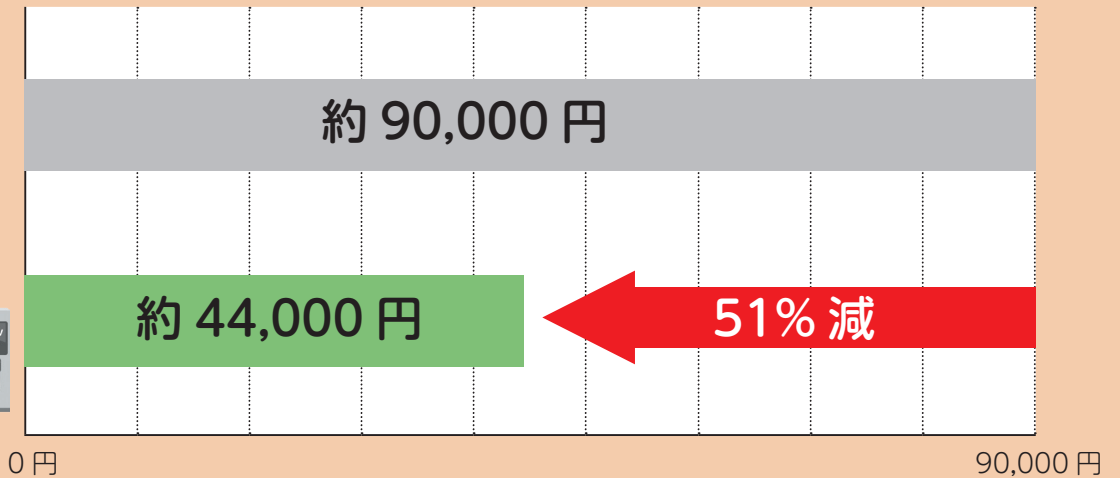
走行コストが安い!

年間の走行距離が10,000kmの場合、EVの走行に必要な充電代は約44,000円。一方、ガソリン車の燃料代は約90,000円です。また、EVは主に自宅で充電するため、ガソリンスタンドに行く手間も省けます。



ガソリン車

EV



※ガソリン車の燃料代は170円/L、燃費は18.9km/L、EVの充電代は31円/kWh、電費は7.0km/kWhでそれぞれ計算



次世代自動車をお得に購入できます！

次世代自動車購入時に、国や市の補助金（併用可）メニューがあります。

国の補助金

■補助上限額

車種別	ベース	条件付き
EV	65万円	85万円
軽EV	45万円	55万円
PHV	45万円	55万円
FCV	230万円	255万円

※補助金は令和5年度実績です

詳しくは ▶

CEV 補助金

検索



市の補助金

■補助額（固定）

車種別	補助額
EV（軽EV含む）	5万円
PHV	5万円
FCV	10万円

詳しくは ▶

岩倉市次世代自動車補助金

検索



次世代自動車普及に向けて、市ではこんな取組を進めています

① 公用車への次世代自動車（EV、PHV）の導入

平成24年度から次世代自動車（EV、PHV）の公用車導入を開始し、現在8台を利用しています。



② 公共施設へのEV用充電設備の設置

令和5年10月5日に Terra Motors 株式会社と「持続可能な地域づくりに関する協定」を締結しました。

令和6年度に協定の取組の1つとして、市内公共施設の一部にEV用充電設備を設置予定です。

